

\*\*\*\*\*

## 夏休み体験講座 1 ～お気に入りの絵を描こう～

\*\*\*\*\*

〈 栗 原 公 民 館 〉

- 開 設 趣 旨 夏休みの自由研究をする。
- 期 間 令和3年7月28日（水）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対 象 ・ 定 員 市内在住の小学生・5人
- 参 加 者 3人
- 講 師 栗原アートクラブ  
海藤 宏
- 事 業 内 容 お気に入りの絵を描く。
- ま と め

初めに、画用紙を加工し段ボールの端切れ、貝殻、割り箸の袋をボンドで貼り色を塗り乾いた後に好きな物を描いた。

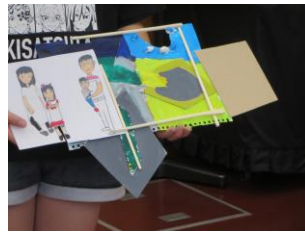
1対1の手ほどきがあり、子どもたちはお気に入りの絵を描くことができた。

画用紙をデザインする作業は何をするのか分からず戸惑っていた。

最後は、とても良い感じに仕上がり図工と絵が組み合わせあったアートの作品となった。

お気に入りの家族写真・果物・昆虫図鑑などを持ち寄った家族の写真を丁寧に写したり昆虫を細かく繊細に描いたり、子どもたちが好きな絵に自由に取り組める内容となった。

栗原アートクラブ講師の指導により、普段は学校で描くことができない絵を描くことができた。



\*\*\*\*\*

## 書き初め教室

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 字の美しい形のとり方や筆の使い方の基本を習って、冬休みに  
でている書き初めの宿題を解決する。
- 期 間 令和3年12月25日(土)
- 時 間 午前10時30分～午前11時30分 (計1時間)
- 対象・定員 栗原・野寺小学校3・4・5・6年生の児童・12人
- 参加者 9人
- 講師 元栗原公民館サークル芙蓉の会講師 田尻 蓉子  
ほかアシスタント6人
- 事業内容 今年の課題は、3年生は「こぶし」、4年生は「友だち」、5  
年生は「新しい朝」、6年生は「希望の光」。
- ま と め

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となつたが、今年度はコロナ禍だが学校や参加者を限定して開催することができた。

3年生5人、5年生3人、6年生1人の参加で、講師やアシスタントから「はい。ここで止めて」、「この下から書いて」、「名前を書く所も考えて書いて」など丁寧に指導していただき書き上げた。

一番うまく書けた作品を学校の提出用として持ち帰った。

受講者からは、「丁寧に教えてもらった」、「うまく書けた」などの声があった。

子どもたちは、課題に熱心に取り組んで書き上げていた。



\*\*\*\*\*

## 環境講座～生き物から見た水環境～

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 環境について考えながら学ぶ。
- 期間 令和3年7月30日（金）
- 時間 午前10時～11時（計1時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・10人
- 参加者 6人
- 講師 埼玉県環境科学国際センター 研究員 田中 仁志
- 事業内容 水生生物の生息しやすい水環境について考える。
- まとめ

川の水質やそこに住む川の生育する生き物について川のことを学んだ。

川は、環境と関係があることを理解し、きれいな川を守る方法を考えた。

埼玉県の4%は川であり川の国であることや埼玉県の地図を見ながら色々な川があり、環境によって住んでいる生き物が変わること透明な流れる川と汚れた川の生き物を比べながらどのような魚が住むかを学んだ。

川の石のぬるぬるは、顕微鏡で見ると微生物が住んでいて、その微生物が川をきれいにしているなど川と微生物の密接に関係しあっていることを学んだ。

「環境の勉強になった。疑問に思っていたことが分かり楽しかった。表や資料を使っていたので勉強になった。夏休みの自由研究にふさわしい環境講座だった」などのアンケートを頂いた。



\*\*\*\*\*

## 環境講座 2 ～新聞紙でエコバックを作ろう～

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 環境について考えながら学ぶ。
- 期間 令和3年8月6日（金）
- 時間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住の小学3年生以上の方・5人
- 参加者 5組7人
- 講師 新座市在住 松田 まち子
- 事業内容 新聞紙の好きな紙面を選んでエコバックをつくる。
- まとめ

エコバックの作り方は、エコバックを作る新聞紙を選びその紙にアイロンをかける。

次に、紙の端に両面テープを付ける。

エコバックに入れる中の紙を折って入れる。

紙袋のようになるように中底を作る。

最後にエコバックの持ち手を付ける。

新聞紙は、折ったときに出る強度があり、作成は見た目より難しく2時間かけて1個のエコバックを作った。

夏休みに親子で参加した方から家にある新聞紙でかわいいエコバックができて大切に使いたい。

破棄してしまう新聞紙が大変身した作品から、何よりも環境に良く物を大切にすることを学ぶ環境講座となった。

講師は、明るく元気な姿勢で作り方以上のエネルギーを受講者に与えた。

受講できずにキャンセル待ちの方や受講者からも来年度、講師の作品を学びたいと要望があった。



\*\*\*\*\*

## おはなし会

\*\*\*\*\*

〈 栗原 公 民 館 〉

- 開 設 趣 旨 栗原公民館サークルの協力により子どもたちに絵本に親しむ機会を提供する。
- 期 間 令和3年4月10日、5月8日、6月12日、7月10日、9月11日、10月9日、11月13日、令和4年2月12日、3月12日の土曜日（計9回）
- 時 間 午後3時～午後3時30分（計4.5時間）
- 対 象 ・ 定 員 市内在住の幼児又は小学生及び保護者・20人
- 参 加 者 参加延べ人数168人
- 講 師 栗原公民館サークル おはなしグループほたる
- 事 業 内 容

| 回 | 月 日    | 内 容                               |
|---|--------|-----------------------------------|
| 1 | 4月10日  | はるのファンタジー、えほん、大型絵本、紙芝居、パネルシアター    |
| 2 | 5月8日   | えほん、パネルシアター、紙芝居、大型絵本              |
| 3 | 6月12日  | えほん、紙芝居、スケッチブックシアター、大型絵本、パネルシアター  |
| 4 | 7月10日  | えほん、紙芝居、えほん、大型絵本、手あそび、ブラックパネルシアター |
| 5 | 9月11日  | えほん、紙芝居、手あそび、大型絵本、パネルシアター         |
| 6 | 10月9日  | 大型絵本、紙芝居、手あそびうた、パネルシアター           |
| 7 | 11月13日 | 大型絵本、紙芝居、スケッチブックシアター、パネルシアター      |
| 8 | 2月12日  | ペープサートとうた、大型絵本、絵本紙芝居、スケッチブックシアター  |
| 9 | 3月12日  | 絵本、紙芝居、大型絵本、パネルシアター               |

### ○ま と め

コロナ禍の中、感染症対策を行いおはなし会を開催することができた。

8月、12月、1月はスペシャルで開催し、おはなし会終了後に毎回、小学生以下の子どもには、月替わりのゾウキリンのシール、折り紙で作ったかえるや独楽などをプレゼントした。

絵本の読み聞かせ、紙芝居やパネルシアターなどを楽しみに参加していた。



\*\*\*\*\*

## おはなし会夏休みスペシャル

\*\*\*\*\*

〈 栗 原 公 民 館 〉

- 開 設 趣 旨 栗原公民館サークルの協力により季節のイベントを楽しむ。
- 期 間 令和3年8月14日(土)
- 時 間 午後3時～午後3時30分 (計0.5時間)
- 対 象 ・ 定 員 市内在住の幼児又は小学生及び保護者・20人
- 参 加 者 大人13人、子ども13人 計26人
- 講 師 栗原公民館サークル おはなしグループほたる
- 事 業 内 容
  1. スケッチブックシアター「どんないろがすき」
  2. 大型絵本「ふしぎなキャンディーやさん」
  3. パネルシアター「プールあそび」
  4. 大型絵本「なつのいちにち」
  5. 紙芝居「コッコおばさんのおおきなすいか」

### ○ま と め

雨の降る中、大人13人、子ども13人、計26人と大勢の参加者だった。

夏休みスペシャルなので、通常のおはなし会の後に、紙風船のすいかを3人ずつ、プラスチックのバットで紙風船を割るすいか割りを行った。

1回で割る子どももいて迫力があつた。

紙風船のすいかが割れた子どもに、今年は東京オリンピックが開催されたこともあって紙で作ったメダルの授与を行った。

おはなし会終了後、ゾウキリンのシールと紙風船のプレゼントがあり、子どもたちは喜んでいた。



\*\*\*\*\*

## おはなし会クリスマススペシャル

\*\*\*\*\*

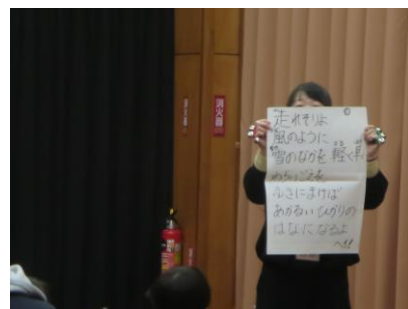
〈 栗 原 公 民 館 〉

- 開 設 趣 旨 栗原公民館サークルの協力により季節のイベントを楽しむ。
- 期 間 令和3年12月11日（土）
- 時 間 午後3時～午後3時30分 （計0.5時間）
- 対 象 ・ 定 員 市内在住の幼児又は小学生及び保護者・20人
- 参 加 者 大人11人、子ども16人 計27人
- 講 師 栗原公民館サークル おはなしグループほたる
- 事 業 内 容
  1. 大型絵本「しりとりのだいすきなおおさま」
  2. 紙芝居「こころもりのふゆじたく」
  3. スケッチブックシアター「そうだったらいいのにな」
  4. 大型絵本「てぶくろ」
  5. ブラックパネルシアター「あわてんぼうのサンタクロース」
  6. “ジングルベル”を鈴で楽しみましょう

### ○ま と め

クリスマススペシャルなので、通常のおはなし会の最後に、「“ジングルベル”を鈴で楽しみましょう」と参加者に鈴を渡し、鈴を鳴らしながら、皆で“ジングルベル”を歌って終了した。

おはなし会終了後に子どもにはゾウキリンのシールと折り紙で作ったサンタクロース、大人には折り紙で作ったクリスマスツリーのプレゼントがあり、盛況のうちに終了した。



\*\*\*\*\*

## おはなし会お正月スペシャル

\*\*\*\*\*

〈 栗 原 公 民 館 〉

- 開 設 趣 旨 栗原公民館サークルの協力により季節のイベントを楽しむ。
- 期 間 令和4年1月8日(土)
- 時 間 午後3時～午後3時30分 (計0.5時間)
- 対 象 ・ 定 員 市内在住の幼児又は小学生及び保護者・20人
- 参 加 者 大人12人、子ども16人 計28人
- 講 師 栗原公民館サークル おはなしグループほたる
- 事 業 内 容 “お獅子 とうじょう”
  1. 紙芝居「おもちのもっち」
  2. 大型絵本「たまごのえほん」
  3. 絵本「けっこんしき」
  4. 手あそび「ゆきやこんこ」
  5. 大型絵本「きたきつねのゆめ」
  6. パネルシアター「わらいごえっていいな」

### ○ま と め

お正月スペシャルなので、最初にお獅子を登場させ獅子舞を披露した。

中には怖がっている子どももいたが、喜んでいる子どもが多かった。

紙芝居、手あそびは、お正月や冬をテーマにした作品を披露した。

おはなし会終了後にゾウキリンのシールと折り紙の作品のプレゼントがあり、子どもたちは喜んでいた。





\*\*\*\*\*

## 絵画を学ぶ～絵手紙を描こう～

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

○開設趣旨 栗原公民館サークルの協力により初歩の絵を楽しむ機会を作る。

○期間 令和3年11月20日（土）

○時間 午前10時～正午（計2時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・12人

○参加者 12人

○講師 彩真会講師 渡部 真介

○事業内容 絵手紙を描く。

○まとめ

初めに絵手紙を描くポイント（構図、着彩、輪郭線）について説明があり、その後、受講生は講師の持ってきた果物（リンゴ、ラフランスなど）や葉っぱなどの題材を描いた。

彩真会の会員3人がアシスタントとして講師と一緒に指導し、はがきサイズの紙3、4枚に好きな題材の絵を描き始めた。

全ての輪郭を描き終えた後、色鉛筆や絵の具で着彩した。

講師が受講者の描いている所を見て回り、「色を強めにコントラストを出して描く」、「明るい所と暗い所があるので気を付けて塗った方がいい」などのアドバイスをしていた。

受講者からは、「先生のお褒めの言葉に支えられて完成した」「先生もやさしく教えてくれてよかった」などの感想があった。



\*\*\*\*\*

## 絵画を学ぶ2

\*\*\*\*\*

〈 栗原 公民館 〉

- 開設趣旨 趣味で水彩画を始めようとする方又は、すでにやっている方についてアドバイスし、より技術を追求し、生きがい、仲間づくりを目指す。
- 期間 令和3年11月25日(木)
- 時間 午前9時30分～正午(計2時間30分)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・5人
- 参加者 4人
- 講師 水彩画家 南雲 義男
- 事業内容 総合運動公園の風景を描き、午前11時45分に集まり、全員の作品を並べて、講評を聞いた。
- まとめ

午前9時30分、新座市総合運動公園管理事務所前に集合してのスケッチ。初めての受講者にはスケッチの描き方をまとめたしおりを渡し、その後、総合運動公園隣にある本多の森お花畑などのスケッチを行った。

講師は受講者がスケッチしている所を回り、「紅葉している所も描くと変化がでる」、「人物を入れてもいい」、「もうちょっと色を濃くしてもよい」など丁寧に指導していただいた。

描いたスケッチについて、午前11時45分過ぎに、講師から「柵があると公園で散歩していることが分かる」、「色合いが丁度うまくいっている」、「形はこんな感じでよい」などの講評していただいて終了した。

受講者からは、「丁寧に教えていただいた」、「先生の主宰している会に参加したい」などの声があった。



\*\*\*\*\*

## 暮らしの講座

### ～アーティフィシャルフラワーによる鏡の作品～

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 暮らしを通じてより充実した生きがいを作る。
- 期間 令和3年11月9日（火）
- 時間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・8人
- 参加者 7人
- 講師 日本フラワーデザイナー協会 斯波 直美
- 事業内容 暮らしを通じてより充実した生きがいを作る。
- まとめ

初めに、アーティフィシャルフラワーとは何かを説明した。

花材や材料の使い方から鏡の置き方・花の切り方を教わった。

紙ペーパーナプキンの色をそれぞれに決めてのりで板の枠に貼っていった。

ふちどりのシールを額の周りに引っ張りながら貼っていった。

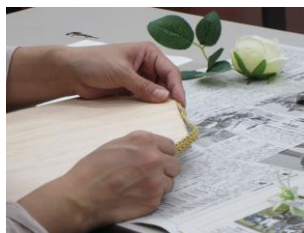
花の位置は、最初に置いて決めた。

次に、一度頭の中に構図を入れてからグルーガンで、花材を付けていった。

ペーパーナプキンや花の置く位置を決めるのに相当時間が掛かった。

どの参加者からも「難しかったが、集中して作ったので、2時間あっという間だった」との感想があった。

一人一人のオリジナルデザインによるアーティフィシャルフラワーによる鏡の作品を美しく飾ることができた。



\*\*\*\*\*

# 歴史に学ぶ

\*\*\*\*\*

〈 栗原公民館 〉

- 開設趣旨 歴史から現代に生きる知恵を学ぶ。
- 期間 令和3年11月2日・30日の火曜日（計2回）
- 時間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 29人 参加延べ人数47人
- 講師 大東文化大学文学部歴史文化学科教授 宮瀧 交二
- 事業内容

|     |                 |
|-----|-----------------|
| 第1回 | 元号の歴史           |
| 第2回 | 「駅弁掛紙」から学ぶ近・現代史 |

## ○ま と め

1回目は、東アジアの元号の歴史や日本の元号の歴史について講義していただく。

元号を使用しているのは日本だけ、運転免許証は西暦と元号が併記されているなどと知らなかったことや見落としていたことを教えていただく。

最後に、新座市の歴史を彩った人々たち8人についてパワーポイントを使用して講義していただく。

2回目は、埼玉県には県で作った駅弁は販売していないことや、パワーポイントを使用して戦時中の掛紙を見せていただく。

戦時中は戦争のスローガンを書かないと販売できなかったなど講義していただく。

途中で、NHKの10月28日放送の日本人のおなまえの新座の由来のDVDを見る。

受講者からは、「普段、あまり聴けない話題であり改めて学ぶことが多かった」、「大変興味深く聞かせてもらった」などのアンケートが寄せられた。



\*\*\*\*\*

# 万葉集をよむ

\*\*\*\*\*

〈 栗原 公民館 〉

- 開設趣旨 万葉集について学ぶ。
- 期間 令和3年6月1日・8日・22日・29日の火曜日  
(計4回)
- 時間 午前10時～正午(計8時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 29人 参加延べ人数99人
- 講師 学習院大学講師 林 東洋
- 事業内容

|     |               |
|-----|---------------|
| 第1回 | 万葉集とは         |
| 第2回 | 巻第一 雑歌        |
| 第3回 | 巻第一 雑歌、巻第二 相聞 |
| 第4回 | 巻第二 相聞        |

## ○ま と め

元号の令和は、万葉集巻五、梅花の歌三十二首の序文から2文字を取り命名されたことから昨年度開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止から今年度が第1回となった。

第1回は「万葉集とは」と題して万葉集はどんな歌集なのか。

「令和」の起源である梅花の歌三十二首を読み解いた。

第2回は巻第一 雑歌、第3回は前回の続き巻第一 雑歌と巻第二 相聞、第4回は前回の続き巻第二 相聞を読み解いた。

林先生の講座は、昨年2月の論語を学ぶ以来の講座となり感染拡大防止で募集人数を30人に制限したため申込初日30分で定員に達した。

参加者からは、「先生のすばらしい解説で万葉の世界を味わえて嬉しい」「久しぶりの講座で集中して拝聴でき、学生の頃に戻ったようで楽しかった」などの声を頂いた。





\*\*\*\*\*

## 論語を学ぶ 1 1

\*\*\*\*\*

〈 栗 原 公 民 館 〉

- 開 設 趣 旨 孔子の人となりと思想について学ぶ。
- 期 間 令和4年2月8日・22日、3月8日の火曜日 (計3回)
- 時 間 午前10時～正午 (計6時間)
- 対 象 ・ 定 員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参 加 者 26人 参加延べ人数67人
- 講 師 学習院大学講師 林 東洋
- 事 業 内 容 孔子とその弟子達との問答から儒教の教えを伝える「論語」について取り上げた講座の11回目になる。
  - 第1回 「疾病」
  - 第2回 「憂患」
  - 第3回 「死」

### ○ま と め

当初、1月25日、2月8日、22日、3月8日で開催する予定だったが、講師の都合で1月25日は中止となり3回講義となった。

第1回は、一昨年度のまとめ「忠恕」について講義していただき、「疾病」について講義していただく。

第2回は、前回のまとめを講義していただき、「憂患」について講義していただく。

第3回は、前回のまとめを講義していただき、「死」について講義していただく。

受講者からは、「今回3度の受講だったが楽しかった」、「何十年前学生の時ちょっと勉強（論語）したのを思い出した。林先生の説明は分かりやすく良かった」、「何より先生の話上手が楽しいです」などの感想を頂き、受講生は楽しんで受講していた。



\*\*\*\*\*

## 環境講座3～モイストポップリを作ろう～

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 環境について考えながら学ぶ。
- 期間 令和3年12月7日（火）
- 時間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・10人
- 参加者 10人
- 講師 NPO法人日本コミュニティガーデン協会  
櫻 博子、小山 悦子
- 事業内容 モイストポップリを作る。
- まとめ

モイストポップリは、香りの良いハーブを使用し、塩を用いて長期的に保存させ部屋や玄関に置き使用するものである。

ハーブは、ローズマリー・ラベンダー・フレンチマリーゴールド・アップルミント・メキシカンブッシュセージを使用した。

保存ビンにハーブと塩を交互に詰め、このまま2週間から1か月熟成させる。熟成したら香りを楽しみ、香りがなくなったらエッセンシャルオイルを足してもよい。

コルクを開けたときに、一番上は好きな香りを入れる。

塩とポップリを重ねて香りを楽しみながら入れていった。

「ハーブの育て方や環境に良い堆肥作りを重ねて学んだ。塩とハーブで簡単に作ることができて、とても楽しかった。ハーブの香りに癒やされた」との感想を頂いた。



\*\*\*\*\*

## 育児学級 1 ～おはなし会とマラカスを作ろう～

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 子育てについていろいろ学ぶ中で仲間づくりのきっかけとする。
- 期間 令和3年5月29日(土)
- 時間 午前10時～午前11時 (計1時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・10組20人
- 参加者 9組18名 大人9人・幼児9人
- 講師 栗原公民館サークル  
おはなしグループほたる 小林 路美子
- 事業内容 おはなし会とマラカスを作る。
- まとめ

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止になっていた保育講座が1年ぶりに開催する運びとなった。

毎月、第2土曜日に行うおはなし会の評判もあり、お父さんも参加され、親子で一緒のおはなし会とマラカス作りを楽しんだ。

マラカス作りは、容器にビーズを入れたり、シールを貼ったりする作業に子どもたちの真剣に取り組む姿が見られアットホームな講座になった。



\*\*\*\*\*

## 育児学級 2 ～レジン作り～

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 子育てについていろいろ学ぶ中で仲間づくりのきっかけとする。
- 期間 令和3年6月18日（金）
- 時間 午前10時～午前11時（計1時間）
- 対象・定員 2・3歳児を持つ幼児と保護者5組
- 参加者 4組6人（大人4人・幼児2人）
- 講師 栗原公民館サークル はなかご 菊地 尚子
- 事業内容 レジン作り
- まとめ

2年ぶりの保育付き講座では、若いお母さんたちが初めてのレジン作りを体験することができた。

レジン作りは、興味があっても材料や道具をそろえることが大変なので、公民館で講座があり喜んで参加していた。

思ったより簡単な作業で、素敵なレジンのキーホルダーが仕上がった。

「子どもと離れる時間が持てて参加することができてよかった」との声を頂いた。



\*\*\*\*\*

## 農業を学ぶ

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 地元の農家の協力により作物の作り方を学ぶ。
- 期間 植え付け 令和3年5月28日(金)  
収穫 令和3年10月21日(木)
- 時間 午後2時～午後3時 (計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・5人
- 参加者 5人 参加延べ人数10人
- 講師 農業 原井 正治
- 事業内容 原井さんの畑でさつまいもの苗の植え付け、収穫を行う。
- まとめ

当初、5月21日(金)に苗の植え付けを行う予定だったが、植え付け日までに苗が入荷されず、苗の入荷後、雨が降り5月28日(金)の開催となった。

さつまいもの植え付け方、育て方の説明をしていただき、ベにはるかという品種の苗を4本植え付ける。

10月21日(木)の収穫は天候に恵まれ、実施することができた。

さつまいもの保存方法やつるの刈り取り方法の説明があり、つるの刈り取り体験を行い、自分が植えたさつまいもを掘り、大小合わせて20本以上のさつまいもを持ち帰ることができた。

参加者からは、「さつまいもの収穫は楽しかった」、「来年度も参加したい」などの声があり、貴重な農業体験ができ、自分で掘ったさつまいもを喜んで持ち帰った。





\*\*\*\*\*

## 四季を学ぶ～ひまわりを折って飾ろう～

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 夏を感じるひまわりを折り紙で折る。
- 期間 令和3年7月24日(土)
- 時間 午前10時～正午(計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・5名
- 参加者 大人4人 小学生1人 計5人
- 講師 新座折り鶴の会  
本多 秀子
- 事業内容 四季を学ぶ。
- まとめ

1枚の紙からひまわりの花や葉を折り、それぞれに折り方の工夫があった。花は、2枚の紙を使い額は座布団折りで葉は、ハートの形の葉を折った。ワイヤーで茎を作り、葉がよれないように付けた。

「ひまわりの折り方が分かって良かった。夏休みに親子で一緒に参加することができて良い思い出作りになった。折り紙は、思いどおりにいかず難しいところもあった。何度もこうした講座に参加させていただきたい」との感想を頂いた。

講師は、難しいところのポイントを押さえながら一人一人がきれいに仕上がるように指導し、1本のひまわりを仕上げた。

最後に、ひまわりの飾りは壁掛けや花瓶に挿して入れる飾り方を教えていただいた。



\*\*\*\*\*

## オリ・パラ応援講座 ブラジルを知ろう！

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨      オリンピック・パラリンピックについて学ぶ。
- 期            間      令和3年6月25日（金）
- 時            間      午前10時～11時30分（計1.5時間）
- 対象・定員      市内在住・20名
- 参加者        9人
- 講師           新座市国際交流員    グスタヴォ・ラモス
- 事業内容      ブラジルの文化や食などプロジェクターを使用して楽しく紹介した。

### ○まとめ

東京2020オリンピック競技大会開幕まで30日を切った中、ブラジルのホストタウンと事前トレーニングキャンプ地である新座市で平成31年から国際交流員を務めているグスタヴォ・ラモスさんを講師に迎えて、ブラジルの歴史、文化、自然、国際文化と歴史、料理、ポルトガル語を一部クイズ形式で学んだ。

最後に、質問時間を設けて、「ブラジル人は何語を学ぶか」「ブラジルの人口は」など熱心に質問をしていた。

平日の開催ということもあり、若い世代の参加者が少なかった。

参加者からは、「ブラジルについて、初めて知ったことが多い。コロナが終息したらブラジル料理を食べてみたい。ブラジルへの理解が深まった」等の感想を頂いた。



\*\*\*\*\*

# オータムフェスティバル

\*\*\*\*\*

〈 栗原 公 民 館 〉

○開 設 趣 旨 第37回栗原公民館まつりが中止になったため、栗原公民館  
利用団体の発表の場としてロビー展を開催する。

○期 間 令和3年10月2日（土）～28日（木）（計20回）

○時 間 午前9時～午後9時30分（日曜日は午後5時30分まで）

○対 象 ・ 定 員 栗原公民館登録団体・8組

○参 加 者 5組

○事 業 内 容

| 日程               | サークル名     | 展示内容               |
|------------------|-----------|--------------------|
| 10月 2日（土）～ 7日（木） | 栗原クラフト同好会 | バック、小物             |
| 10月 8日（金）～14日（木） | アトリエ・こすもす | 押花額                |
| 10月12日（火）～14日（木） | 楽しい生け花の会  | 生け花                |
| 10月19日（火）～21日（木） | はなかご      | 生花アレンジメント<br>生け花 他 |
| 10月22日（金）～28日（木） | フォトサークル虹  | 写真                 |

○ま と め

「栗原クラフト同好会」は当初1日からの予定だったが、悪天候のため翌日の2日からの展示となる。

「楽しい生け花の会」と「はなかご」は、生け花のため3日間の展示となる。

参加団体からは、「コロナ禍で公民館まつりも中止となり展示する機会がなく、久しぶりに展示ができてよかった」、「来年度も展示する機会を設けてほしい」などの声があった。

来館者からは、「久しぶりにすばらしい作品を見ることができた」、「私も作ってみたい」などの声があり、大勢の方に見てもらうことができ、コロナ禍で外出する機会も減っているのに、来館者は楽しんで作品を見ていた。



\*\*\*\*\*

## 人権学習

\*\*\*\*\*

〈 栗原 公 民 館 〉

- 開 設 趣 旨 人権ビデオによる人権学習
- 期 間 令和3年11月13日(土)
- 時 間 午前10時～午前11時10分 (計1時間10分)
- 対 象 ・ 定 員 栗原公民館運営委員・8人
- 参 加 者 6人
- 教 材 「ここから歩き始める」約34分
- 事 業 内 容 第1回利用者懇談会運営委員会の後半に生涯学習スポーツ課から借りたDVDを視聴した。
- ま と め

「認知症を共に生きる」をテーマに、超高齢者社会を迎え、日常生活の中でどうすれば高齢者の尊厳が守られ、豊かな経験や知識が尊重され、活用される地域社会づくりができるかを考え、認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎなおしを高齢者が人間として、誇りをもっていきっていく上で大切なことについて、家族や地域の視点をおして考えるきっかけとなった。

自分自身や家族一人ひとりのこれからについて思いを巡らし、安心して幸せに暮らすために何ができるかを学んだ。



\*\*\*\*\*

## 伝統を学ぶ～水墨画を描こう～

\*\*\*\*\*

〈 栗原公民館 〉

- 開設趣旨 日本伝統を学ぶ。
- 期間 令和3年11月12日(金)
- 時間 午前10時～正午(計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・5人
- 参加者 5人
- 講師 爽墨会講師 角 靖子
- 事業内容 水墨画で苺を描く。
- まとめ

爽墨会のサークルの人6人がアシスタントとして来ていただいた。

受講者全員が水墨画は初めてだったので、水墨画の描く方法の主な没骨法(もっこうほう)、鈎勤法(こうろうほう)、ぼかし法についてや使用する紙(画仙紙)の種類楮紙(こうぞし)、三桎紙(みつまたし)、雁皮紙(がんびし)についての説明があり、その後墨をすり始め、苺を描き始める。

受講者1人にアシスタント1人が付いて丁寧な指導をしていただく。

講師が基本の描き方を指導してくれる。

受講者に「重ね塗りをしない方がいい」「筆を寝かせて描いた方がいい」などのアドバイスをしていただきながら描いていた。

終了後、爽墨会のロビー展の作品を見学した。

受講者からは、「丁寧に教えてもらってよかった」などの感想があり、皆、楽しく描いていた。





\*\*\*\*\*  
防犯を学ぶ～振り込め詐欺被害防止ワークショップ～  
\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 生活課題を解決する力を身につける。
- 期間 令和3年11月18日（木）
- 時間 午前10時～11時（計1時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・10人
- 参加者 8人
- 講師 防犯・被害者支援担当 振り込め詐欺被害防止マイスター  
柿沼 武雄
- 事業内容 生活課題を解決する力を身につける。
- まとめ

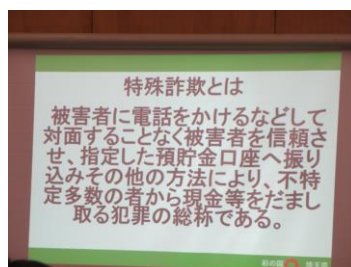
特殊詐欺（オレオレ詐欺、架空請求詐欺、還付金詐欺、融資保証金詐欺など）について学んだ。

埼玉県内・新座市内の被害件数・被害額・被害状況また主な手口や特徴を話された。

詐欺は、千人以上の方に固定電話をかけることが全体の80%以上であることや犯人は、まともに話しをしても勝てないため、留守番電話にする。

また、電話に出た場合の対処方法やなぜだまされてしまうのかといった実例を挙げながら意識を持ち高めるための対策を学んだ。

「自分には、関係ないと思っていたが、講師の詳しい説明に知らない電話は出ない、身に覚えのない請求メールや電話には、家族や警察に相談することなど多くの知識を得ることができた」との声を頂いた。



\*\*\*\*\*

## 歴史人物に学ぶ～渋沢栄一が生きた幕末～

\*\*\*\*\*

〈 栗原 公民館 〉

○開設趣旨 日本近代医学の祖・緒方洪庵、武士・政治家・外交官の榎本武揚、日本資本主義の父・渋沢栄一について考える。

○期間 令和4年1月7日・14日・28日の金曜日 (計3回)

○時間 午前10時～正午(計6時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人

○参加者 24人 参加延べ人数55人

○講師 読売・日本テレビ文化センター講師 鈴木 貞夫

○事業内容

|     |       |
|-----|-------|
| 第1回 | 緒方 洪庵 |
| 第2回 | 榎本 武揚 |
| 第3回 | 渋沢 栄一 |

○まとめ

今回は、渋沢栄一が生きた幕末と題して、緒方洪庵、榎本武揚、渋沢栄一を取り上げた。

第1回緒方洪庵では、「世のためにつくした人」洪庵の修業時代、開業「敵塾」開塾と八重夫人の貢献、門下生からは幕末維新、明治を担った多くの人材を輩出、「近代医学の父」洪庵と八重の晩年、第2回榎本武揚では、「近代の万能人」生い立ちと若い頃の学びや経験、箱館戦争で敗戦後、北海道の開発にあたる、日本の近代化に尽くした「国際人」として再評価、第3回渋沢栄一では、若い頃の渋沢は4度の転身をする、経済界の発展に尽くし「日本資本主義の父」、社会事業家として人のために尽くす、栄一の人間像と生活について講義していただく。

受講者からは、「内容が分かりやすく集中して楽しめた」、「歴史人物の功績が詳しく学べた」などの声があった。



\*\*\*\*\*

## 初めてのパッチワーク～バックインバック～

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 パッチワークでバックインバックを作る。
- 期間 令和4年1月20日・27日（木）
- 時間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤・10人
- 参加者 10人 参加延べ人数20人
- 講師 パッチワーク講師 三ツ矢 歌子
- 事業内容 パッチワークでバックインバックを作る。
- まとめ

電話での講座申込みが、殺到した。

募集定員が達した後も申込みがあった。

コロナ禍で人数制限がありお断りした。

パッチワークキルトの裁断済みの材料がとてもよかった。

時間的にも余裕があり、2日間で最終日、参加者全員がバックインバックを仕上ることができた。

「講師とアシスタントの優しく丁寧な教え方が分かりやすかった。

初めてのパッチワークは、難しいと思っていたが、一つ一つ縫い方を教えてもらいながら進めていったので、思った以上の作品で仕上がりがとても満足した2日間になった」との感想を頂いた。

講座中に続けて小物作りを習いたいという要望があった。

講師の厚意で「パッチワークの会」を6人で立ち上げることができた。



\*\*\*\*\*

## 地域活動講座～地域活動はじめてみませんか～

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 自治能力を養い地域活動を行うきっかけとする。
- 期間 令和4年2月4日（金）
- 時間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤・10人
- 参加者 8人
- 講師 立教大学 学校・社会教育講座 特任准教授 高井 正
- 事業内容 地域活動はじめてみませんか。
- まとめ

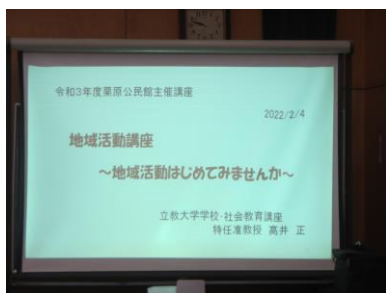
地域活動を始めると、平均寿命が伸びる中で、長くなった時間を生きるための学ぶときに新たなアイディンティ・役割・スキルなどを身につけるための学びが求められる生涯学習から人と人が結び付けている社会教育の話や傾聴ボランティアなど新座市で色々な方と話し、ふれあい地元で活動していくことを学んだ。

コロナ禍で新しい生活様式から人々を取り巻く環境が変化し孤独死について考えた。

漫画ワークから男性が地域に溶け込むときの大切なジェンダー平等意識や身近な人と良い関係を築き上げ、活動に向けての自己紹介を受講者で行った。

どのように地域に参加できるかについて、地域活動の心得・ポイント・NG・地域で生き生き活動するためのボランティア活動を学んだ。

受講生と講師が一つになり地域活動を始めてみる勉強になった。



\*\*\*\*\*

## 実年学級～すぐに描けるボタニカルアート～

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 生きがい発見の場とコミュニティを作る。
- 期間 令和3年10月15日・29日（金）
- 時間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・6人
- 参加者 6人
- 講師 植物画家 宮下 喜美江
- 事業内容 生きがいの発見の場とコミュニティを作る。
- まとめ

ボタニカルアートの1回目は、コスモスの花を見ながら花を真ん中に書き最初にアウトラインで描く、コスモスの斜め顔を描く、花の位置を見つけてみる、実物大の大きさを描く、葉を書くときは2本線で描くなど、美しく植物画として描くこと、証明写真のようにコスモスをよく観察して描くことを学んだ。

最後は、コスモスの描いた絵に色を塗っていった。

花びらは、薄いピンクから濃いピンクで重ねて塗っていき縦に繊維に沿って塗ることで、立体感がある絵を仕上げることができた。

ボタニカルアートの魅力にふれてお花のことを勉強しながら絵を描けるように、そして友達にもあげられように丁寧な美しいデッサン画を講師から教わった。

